



JAL のネットワーク、米国 Conducive Technology 社により
定時到着率で『キャリア別ネットワーク部門世界第 1 位』に認定、
日本エアコミューターも『アジアリージョナル部門第 1 位』に認定
～ 安全を大前提とし、お客さまに高品質なサービスを提供し続けてまいります ～

2012 年 1 月 23 日
第 11139 号

JAL は、米国の Conducive Technology 社が発行する、航空会社や空港ごとの定時到着率をはじめ、様々な分析を行っている FlightStats^{(*)1}において、2011 年 1～12 月に JAL のネットワークとして国内線と国際線を運航した「JAL 便名」41 万 9,060 便の定時到着率^{(*)2}について、世界の大手航空会社 39 社中、「86.33%」で第 1 位の認定を受けました(Major International Airlines Operated and Codeshare Flights 部門(以下、キャリア別ネットワーク部門))^{(*)3}^{(*)4}^{(*)5}。

また、これに加えて、日本エアコミューター(JAC)も、昨年のジェイエア(J-AIR)、一昨年度のジャルエクスプレス(JEX)に引き続きアジア・リージョナル部門(Regional Asian Airlines 部門)において、航空会社 15 社中、「92.60%」で第 1 位の認定を受けました。また、同部門においては、1 位から 4 位を JAL グループの運航会社が独占するなど高い定時到着率を維持しました。

JAL グループは、航空会社の基本品質の根幹である定時運航に日々努めていますが、極めて高い定時到着率を維持できているのは、多くのお客さまの定時出発へのご理解とご協力の賜物であると考えています。

また、定時運航することは、出発待機時を含む運航時の余分な燃料消費、余分な CO₂ 排出を抑制することができるなど、環境負荷軽減に 寄与するため、「空のエコ」の実践に大きく繋がる こととなります。



(定時到着率世界第 1 位認定証)

JAL グループは、これからも安全を大前提としつつ、お客さまにもご協力いただきながら、更なる定時運航に取り組み、「世界ナンバーワンのオンタイムエアライングループ」、「世界ナンバーワンのエコエアライングループ」として、お客さまに選ばれる航空会社を目指してまいります。



- (*1) FlightStats: Conducive Technology 社 (<http://www.conducivetech.com/> 米国オレゴン州ポートランド、社長 Jeffrey Kennedy 氏。2001 年設立) がオンライン (www.flightstats.com) で提供する同社の主力商品。航空会社、FAA、空港会社、旅行会社の予約システム (Sabre, Amadeus, Apollo, Galileo など) を通じてデータを収集し、世界の便の出発・到着遅延に係わる情報をホームページで提供しています。また航空会社ごと・空港ごとの定時到着率をはじめとする様々な分析を行い、同ホームページにて公表しています。同社のデータは海外のメディアなどでも広く紹介・引用されています。
- (*2) 定時到着率: FlightStats では便の到着予定時刻に対して遅延 15 分未満で到着した便が全体に占める比率を示しています。
- (*3) 今般受賞した「キャリア別ネットワーク部門」は、今回新たに設置されたカテゴリーです。自社運航か関連航空会社運航かに関わらず、便名に名を冠した航空会社名により便を選択またはご予約等をされるお客さまが多い実態を反映し、利用者目線により重きを置いた統計であり、JAL 便名の定時性が世界第一位に認定されました。その条件は、「大手航空会社で、大陸間をまたがる国際線を多数運航または三大陸にまたがる国際線を運航、且つ年間 30,000 便以上で、自社運航便に加え、関連航空会社および委託形態でのコードシェア運航を含むキャリア別ネットワーク部門、以下、キャリア別ネットワーク部門」となっています。
- (*4) キャリア別ネットワーク部門において、JAL のネットワーク 41 万 9,060 便の 2011 年の年間実績が「86.33%」で世界第 1 位となりました。このうち JAL 運航および JAL グループ会社 (ジャルエクスプレス・ジェイエア・日本トランスオーシャン航空) の運航する便のうち“JAL000便”として運航された 22 万 7,035 便の 2011 年 1 月～12 月の定時到着実績は「90.52%」でした。本部門は、アメリカン航空、ブリティッシュエアウエイズ、エールフランス等の外国航空会社が運航し、JAL が当該便にコードシェアした、“JAL000便”として運航された実績も含んでいます。
- (*5)、昨年および一昨年に 2 年連続世界第 1 位を獲得した「大陸間をまたがる国際線を多数運航または三大陸にまたがる国際線を運航、且つ年間 30,000 便以上の運航会社別の部門 (Major International Airlines)」について、JAL (日本航空単体) としての 2011 年の実績では、「90.14%」の実績で世界第 2 位となりました。

以上